

ファイナル能代西高校・統合校へバトンを

本校は昭和20年に能代市立能代女子実業学校として創設され、秋田県立能代農業高等学校を経て、平成6年に現在の秋田県立能代西高等学校に改称し、平成10年4月からは「総合学科高校」として歩みを進め、今年で創立75年目を迎えます。

しかしながら、第七次秋田県総合整備計画の学校再編により、本校と秋田県立能代工業高校との統合が決定し、令和3年4月の開校に向けて準備が進められております。本校にとって今年度は、能代西高校としての最終年度となりました。これまで、地域の農業界を支える人材を育成してきた教育活動を継承しながら、統合校では農業の6次産業化、農と食の福祉分野への応用、ドローンや植物工場などを活用した次世代の農業、スマート農業を推進するための知識、技能、技術の習得に力を注いでいきたと考えております。

現在の本校には、大学科「農業科」として学ぶ1・2年生が118名、「総合学科」で学ぶ3年生61名の合わせて179名が在籍しています。

誠実で真面目に一生懸命働くという校訓「勤労至誠」の精神の下、心身ともに健康で、主体的に社会の変化に対応できる人材育成を目指して日々の教育活動を進めております。

また、世界自然遺産白神山地を望む全県一の広大な敷地を活用し、地域の方々にも本校の教育活動を理解していただくために、季節に応じた農場の開放（菜の花畑・ひまわり畑・コスモス畑）や実習体験活動（養蜂、蕎麦打ち、白神ネギの収穫）、福祉活動（介護・福祉ボランティア）などを実践し、地域に信頼される、活力に満ちた魅力ある学校づくりに努めております。

「生徒の主体性と自立心を育むキャリア教育の推進」を学校経営方針に掲げ、将来の夢に向かって生徒一人一人が社会的・職業的自立を果たすために、生徒の自己肯定感・自己有用感を育む教育活動を推進し、将来、地域に信頼され、地域社会に貢献できる人材をこれからも育てていきたいと思っております。

この東雲大地に建つ能代西高校の校舎での学びは後1年となりましたが、能代西高校が育んできた伝統を引き継ぎながら、新しい統合校へ確実にバトンを渡したいと思っております。

最終年度となる能代西高校に、最後まで保護者、同窓会、地域の皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

令和2年4月1日

秋田県立能代西高等学校長 藤田 仁志

